

特別展



鎧・兜・鯉のぼりを会場いっぱいに展示

端午の節句
五月の武者飾り

開催期間：平成25年4月17日（水）～5月12日（日）

開館時間・9時30分～16時30分

休館日・毎週月曜日（但し4月29日、5月6日は開館）及び
4月30日（火）、5月7日（火）

会場・志木市立郷土資料館（入場無料）

主催・志木市立郷土資料館

Tel 048-471-0573



志木市立
郷土資料館









本舗威
菊金物光

原主御正指定
李小は菊金物光
新成六秀金物光元
一重六重の如き

龍工作

は 破魔弓

文字通り、魔よけ、つまり厄払いのお守りです。初正月に男の子に贈ってお祝いする習慣が古くからあり、今日までその習慣が伝わって來たのです。

現在の形の破魔弓は、鎌倉時代に生まれ、各地の城下町を中心にして、武家や町人の家で破魔弓を飾って悪魔を追い払い、男の子のすこやかな成長を祈りました。

(人形「東玉」のパンフレットより引用)



鐘馗

鐘馗は、玄宗皇帝の夢の中に出てきて、魔を祓い病を愈したという古事から悪霊や邪鬼を追い払う民間信仰の神といわれています。

わが国ではその像を五月のぼりに描き、五月人形に作り、また朱で描いたものは、厄除よけになるといわれてきました。その姿は巨眼で鬚が多く、黒冠をつけ、長靴をはき、右手に剣をとり、小鬼をつかむ格好をしています。









特別展・端午の節句

「五月の武者飾り」の開催にあたって

皐月の空は晴れわたり、新緑も目に鮮やかにしみわたる良い季節になると、いよいよ男の子の「端午の節句」の季節がやってまいります。五月の端午の節句に飾られる、兜（かぶと）や鎧（よろい）やひげを生やした鍾馗（しょうき）様など、力強くはありますが、「桃の節句」のおひなさまと違ってやや色彩感がとぼしいものがあります。しかし、大空をおよぐ「鯉のぼり」もあります。このように屋外にも飾り物があることが「端午の節句」の特色といってよいでしょう。

5月5日の端午の節句は、のちに「こどもの日」に制定されました。この日が「こどもの日」となったのは、両親、家族や世の中の皆が、子どもたちの人権を守り、健やかに成長し、将来の社会を担っていく人間になるようそんな期待を込めてできた祝いの日です。小さな男の子の成長を期待して武者飾りで示した両親や家族の心根は今なお通ずるものがあるように思います。そのようなことを考えながら、伝統にはぐくまれた、力強い五月飾りを楽しんでいただきたいと思います。

なお、大切にされてこられた資料を提供してくださいました市民の皆様方に、あらためて御礼申し上げます。